

共同薬局だより ～そよかぜ～



特集：ジェネリック医薬品

しばらくご無沙汰していた「そよかぜ」ですが、疾患特集号等を随時更新する形で復活します。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

(ジェネリック医薬品って何?)

「新薬」として最初に発売された薬は特許に守られ、開発したメーカーが独占的にその薬を製造販売することができます。これが「先発医薬品」です。

ところが 20～25 年の特許期間が切れると、他のメーカーも同じ成分、同じ効果のお薬を製造できるようになります。これが「ジェネリック医薬品 (後発医薬品)」で、その価格は先発医薬品よりも安く設定されています。



(先発品のみ)	(共同薬局)
先発医薬品のみの処方例	ジェネリック医薬品を使った処方例
ノルバスク 2.5mg (1錠 35.3 円) ⇒ 2錠 1× 朝食後	アムロジピン 2.5mg (1錠 23.0 円)
メバロチン 5mg (1錠 59.3 円) ⇒ 2錠 1× 夕食後	プラバチン錠 5mg (1錠 23.9 円)
ザンタック 75mg (1錠 28.4 円) ⇒ 2錠 1×寝る前	ラニタック錠 75mg (1錠 7.2 円)
パナルジン 100mg (1錠 61.9 円) ⇒ 2錠 2×朝夕食後	チクピロン錠 100mg (1錠 7.5 円)
ザイロリック 100mg (1錠 27.0 円) ⇒ 1錠 1×朝食後	アロリン 100mg (1錠 6.0 円)
ベイスン錠 0.2mg (1錠 43.5 円) ⇒ 3錠 3×毎食前	ボグリボース錠 (1錠 24.5 円)
1日分 527.3 円	202.7 円
30日分 15819 円	6081 円

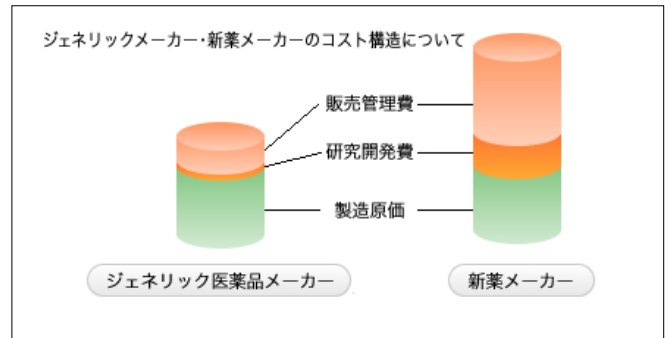
その差 9000 円

(上記は負担割合が 10 割の場合です。また、調剤技術料などは含まれていません。)

(安いのは良いけど、効果はどう?)

ジェネリック医薬品の効果は、先発医薬品と同じです。

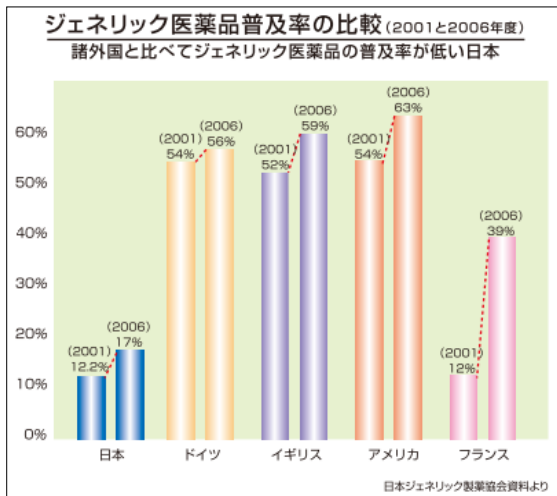
ジェネリック医薬品は、すでに先発医薬品の成分*の有効性と安全性が確かめられた後に発売されています。また、ジェネリック医薬品は、どれだけの速さで、どれくらいの量の薬の成分が血液中に入っていくかを調べる試験(生物学的同等性試験)を行って、同等であることが確認されてから発売されますので、先発医薬品と同じ効果が認められます。 ※有効成分以外の添加物が異なる場合があります。



(安全性はどうですか?)

品質を守るために「品質再評価」が行われその結果はいつでも公開されています。

ジェネリック医薬品も新薬と同様に、品質や安全性の規定を守って製造販売されています。さらに 1998 年からは、従来のジェネリック医薬品の品質を確保するために、品質の再評価が実施されています。その結果は「医療用医薬品品質情報集(日本版オレンジブックと呼ばれます)」にまとめられ公表されていますし、またホームページ上でも確認できます。**世界的には、ジェネリック医薬品は大変よく使われている医薬品です。(左表)**



<http://www.jp-orangebook.gr.jp> (それ以外に各製薬会社の HP でも公開されています)

(ジェネリック医薬品の付加価値)

また、ジェネリック医薬品は付加価値を付けるために、先発医薬品より「飲みやすくする」「添加剤を工夫して、品質の安定性を高める」「外観の文字や記号をより安全にする」などの工夫を行っている医薬品がたくさんあります。

(民医連はジェネリック医薬品を進めています)

患者様の負担を少なくし、医療機関に掛かりやすくなることを目指し、民医連では 20 年以上前からジェネリック医薬品の使用を進めてまいりました。

患者様の負担が安くなるということは、医療費の社会負担が減るということです。限られた医療費であれば、余ったお金は他の方の医療費に使えるという大きなメリットにもつながります。医療費抑制という国策でなく、患者様にメリットがあるジェネリック医薬品、今後も推進していきたいと考えています。



参考資料) 日本ジェネリック医薬品学会 HP 他

千葉民医連薬剤師・薬学生のページ <http://www.min-iren-c.jp/>